

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	設計製図 3	
科目基礎情報							
開設学科	建築設計科		コース名		開設期	前期	
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	90時間
単位数	3単位				授業形態	実習	
教科書/教材	初学者の建築講座-建築計画（第3版）、第3版コンパクト設計資料集成（丸善）、建築製図 基本の基本（学芸出版社）／配布資料						
担当教員情報							
担当教員	小林 郁夫 、他			実務経験の有無・職種	有・建築設計・監理 一級建築士		
学習目的							
この科目を受講する学生は、設計課題を通して公共建築が街中に「存在する意義」とは何なのか、「果たす役割」とは何なのかを、考え・学ぶことが目的である。そのため、与条件に沿ったコンセプト・企画提案、それに合った空間構成をし、プランニングおよびプレゼンテーションなどの総合的な手法・技術を習得することを目指す。また法規・構造・設備・材料といった知識を、実務に必要な機能を盛り込みながら具体的に「運営・管理側」と「利用者側」の立場から設計に取り込むことを目的とする。							
到達目標							
(1) 敷地調査／(2) 企画・提案力／(3) 作品をまとめ上げる力／(4) 表現する力／(5) 他の学生の作品を評価する力－ (1) では、敷地および周辺環境・社会的状況を読み解く力＝「調査」「分析」「検討」し、(2) では、どのように条件に合った空間を提案していくかということを学生自らが考え、(3) ～ (5) までの過程では、自主的に作り上げ、自分の言葉で表現し、他の作品を評価することが出来るようになることが目標である。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、実習を通して「考える」・「まとめる」・「やり遂げる」という学習を採り入れる。考える力を養い、スケジュール管理をすることが重要である。また、欠席者、授業内未完成者は、必ずその日に行った授業内容を確認および自宅学習し、次の授業までに準備してくること。						
注意点	・全ての課題提出かつ3/4以上の出席を持って合格とする。理由のない遅刻や欠席は認めない。 ・遅刻、早退、途中退室等の場合は、必ず教員に報告すること。 ・教室を綺麗に整理整頓し、授業中の私語や受講態度などには厳しく対処する。 ・作品の完成度を上げることが重要なので、毎回進展したエスキス・スタディ模型を提出すること。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	課題	40%	課題を総合的に評価する				
	小テスト	0%					
	途中経過	20%	授業内容の理解度および出来高を確認するために実施する				
	成果発表表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる表現力、内容について評価する				
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	オリエンテーション 課題説明			敷地調査概要提出、コンセプト、 エスキス・スタディ模型①チェック（2案）			
2回	設計課題1			敷地模型完成 コンセプト決定・エスキス・スタディ模型②チェックおよび作成、写図（RC造）①			
3回	設計課題1			エスキス・スタディ模型チェックおよび作成、写図（RC造）			
4回	設計課題1			エスキス・スタディ模型チェックおよび作成			
5回	設計課題1			CAD図面チェック（配置図・1階平面図） 本体模型作成（1/100以上）			
6回	設計課題1 中間発表			中間発表（A3用紙4枚、エスキス図含む）			
7回	設計課題1			CAD図面チェック（断面図・立面図） 本体模型作成			
8回	設計課題1			図面・模型提出、模型撮影			
9回	設計課題1			模型撮影 プレゼンシート作成・模型ブラッシュアップ			
10回	設計課題1 講評会 卒業制作説明			プレゼンシート・模型提出 個別発表会、選抜講評会			
11回	卒業制作			制作内容決定 → 敷地選定（2案）・調査概要チェック 工程表作成①			
12回	卒業制作			工程表チェック、敷地概要・その他チェック			
13回	卒業制作 中間発表			中間発表（A3用紙4枚、エスキス図含む） 敷地模型作成、地図作成			
14回	設計課題2			即日設計 課題説明			
15回	卒業制作			コンセプト・エスキス・スタディ模型チェックおよび作成			